

## グミ型サプリ製造参入



中日本カプセルが試作を開始したグミ型のサプリメント

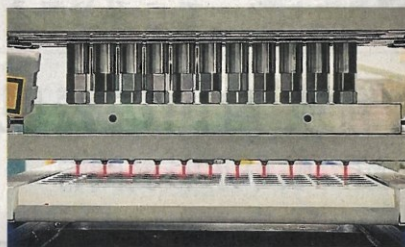
健康食品やサプリメントの受託製造を行う中日本カプセル(大垣市荒尾町)は、年内にも相手先ブランドによる生産(OEM)でグミ型のサプリメント製造に乗り出す。すでに本社工場内に製造設備を導入し、メーカーの依頼で試作を重ねている。ほかにもチョコやゼリーを活用した新しい可食性剤型の開発を進めており、提案力や競争力を強化し、主力のソフトカプセル・ハードカプセルに続く事業の柱に育てる。

### 可食性剤型、事業の柱に

健康食品やサプリメントの受託製造を行う中日本カプセル(大垣市荒尾町)は、年内にも相手先ブランドによる生産(OEM)でグミ型のサプリメント製造に乗り出す。すでに本社工場内に製造設備を導入し、メーカーの依頼で試作を重ねている。ほかにもチョコやゼリーを活用した新しい可食性剤型の開発を進めており、提案力や競争力を強化し、主力のソフトカプセル・ハードカプセルに続く事業の柱に育てる。

(宮本寛)

### 中日本カプセル、OEMで年内にも



グミの溶液をシリコーン型に注入する製造装置=大垣市荒尾町、中日本カプセル

カプセル剤は有効な成分を手軽に多く摂取できるが、年代によっては飲みにくさを感じる人もいる。グミのサプリメントは、味を楽しみながら成分をゆっくり摂ることができる。近年、アメリカや東南アジアなど海外で人気が高く、特に若い世代の支持を集める。日本でも製薬メーカーが手がけ、今後も市場の成長が見込まれる。中日本カプセルは従来から健康食品の原料を扱ったため、混入や成分移行の防止体制など生産管理の安全基準が高く、原料素材への知見も豊富に有する強みを生かせることを考え、参入を決めた。

原料を扱ったため、混入や成分移行の防止体制など生産管理の安全基準が高く、原料素材への知見も豊富に有する強みを生かせることを考え、参入を決めた。本社第3工場内に製造設備を導入し、来年にかけて順次、生産体制の拡充を図る。グミの中央部分に機能性成分を封入する「センターイン方式」を中心に、重さや形、色、味などさまざまなコンセプトの機能性オリジナルグミをOEMで製造する。



グミのほか、機能性成分を配合したチョコレートをグミ状の皮膜で包んだ「チョコカプセル」や、とろみをつけたグリセリンでサプリメントの服用を助けるゼリーなどの開発も進める。今年には展示会にも積極的に出展する計画で、山中利恭社長は「健康食品分野に強みがある当社の(可食性剤型への)参入で、サプリメントの品質向上や市場拡大につなげ、健康社会に貢献したい」と話す。

同社は国内外の健康食品メーカーと取引。主にOEMでサプリメントのソフトカプセル、ハードカプセルを製造する。2023年11月期の売上高は約5億円。